平成30年12月27日

平成30年 第12回

東大和市教育委員会定例会会議録

東大和市教育委員会

平成30年第12回東大和市教育委員会定例会会議録

1. 日 時 平成30年12月27日（木曜日）午後2時00分～午後2時45分

2. 場 所 東大和市役所会議棟2階第6・第7会議室

3. 出席委員 1番 真 如 昌 美（教育長）

2番 岩 田 圭 子

3番 藤 宮 志津子

4番 新 藤 久 典

5番 内 野 裕 子

4. 欠席委員 なし

5. 説明職員

学校教育部長 田 村 美 砂

社会教育部長 小 俣 学

学校教育部
参 事 兼
教育指導課長

佐 藤 洋 士

教育総務課長 石 川 博 隆

統括指導主事 吉 岡 琢 真

社会教育課長 佐 伯 芳 幸

中央公民館長 尾 又 恵 子

中央図書館長 當 摩 弘

6. 書 記

庶務係長 一ツ木 正 美

主 事 後 藤 梨里香

○議事日程

第1 会議録署名委員の指名

第2 教育長諸務報告

第3 第 9 号報告 事務の臨時代理の承認について

第4 第 2 9 号議案 第二次東大和市学校教育振興基本計画（案）について

第5 その他報告事項 （1）東京都「児童・生徒の学力向上を図るための調査」
結果について
（2）平成30年度東京都多摩地域公立図書館大会について
て
（3）教員の表彰について

◎開会の辞

○真如教育長 ただいまから平成30年第12回東大和市教育委員会定例会を開催いたします。

◎日程第1 会議録署名委員の指名

○真如教育長 日程第1、会議録署名委員の指名を行います。
会議録署名委員は、新藤委員にお願いいたします。

◎日程第2 教育長諸務報告

○真如教育長 日程第2、教育長諸務報告を行います。

平成30年11月29日から平成30年12月26日までの諸務報告であります。

11月29日、木曜日、東大和市教育委員会定例会に出席をいたしました。

11月30日、金曜日、中学生の「税についての作文」及び「税の標語」市長賞授与式に出席をいたしました。大変立派な税に関する作文、標語でした。しっかりと学習しているということが伝わってまいりました。

平成30年度東京都公立学校長選考等合格者伝達式に出席をいたしました。

12月2日、日曜日、第53回東大和市ロードレース大会開会式に出席をいたしました。少し寒かったのですがけれども、大変大勢の方がロードレースに参加しておりまして、年々東大和市のロードレースも有名になってきたなど感じながら応援しておりました。

12月4日、火曜日から12月19日、水曜日まで、平成30年第4回東大和市議会定例会に出席をいたしました。

12月8日、土曜日、東京都中学生駅伝東大和団結式に出席をいたしました。

12月13日、木曜日、定例副校長会に出席をいたしました。

続いて、平成30年度東京都小学生科学展東京都知事賞受賞児童の市長表敬訪問に出席をいたしました。このお子さんは、第三小学校の6年生で、昨年もやはり同じように研究発表をして、昨年に引き続いての賞を受けることができました。今年は特に東京都知事賞という一番大きな賞をいただいております。双子のお子さんで、市長からの問いに対しても非常に的確に、またはっきりとした声で

報告されておりました、将来立派な科学者になるのではないかと思うぐらいのすばらしさを私たちに伝えてくれておりました。

続きまして、12月16日、日曜日、北多摩西部消防少年団火災予防餅つき大会に出席をいたしました。

12月18日、火曜日、都市指導主事会第四地区会で挨拶をさせていただきました。

続いて、第五中学校で行われた東京都スーパーアクティブスクール指定校研究発表会に出席をいたしました。スーパーアクティブスクールという東京都からの指定を受けた学校で、すばらしい授業でした。私も長い間体育の授業は見てきているのですけれども、あれほどすばらしい授業は見たことがないというぐらい完璧な授業でした。準備から子どものいろいろな思いを受けとめる力だとか、的確な指導、助言、1時間の構成、立派なものでした。本市のほか町田市と八王子市がこの近辺では指定を受けていました。第五中学校の先生については大変すばらしい授業を提供してもらったと思っております。

12月21日、金曜日、第2回東大和市総合教育会議に出席をいたしました。

続いて、第三中学校の生徒の表彰式に出席をいたしました。中学校の陸上の専門で、全国大会に出ております。第三中学校は、陸上について非常に力を発揮する学校でして、このお子さんも随分練習をして、そして全国大会に出場しました。この方も話をしていて、本当にはきはきとした声で自分の考えをしっかりと見えるお子さんですばらしいなと思いました。高校に進学しても頑張るという声を聞かせていただきました。本当にうれしくなりました。

12月24日、月曜日、創価学園音楽祭に出席をいたしました。恒例の音楽祭ですけれども、市長とともに出席をさせていただきました。

12月26日、水曜日、学校の適正規模等のあり方検討委員会に出席をいたしました。

以上でございます。

教育長諸務報告が終わりました。

ただいまの報告につきまして、ご質問等ございましたらご発言をお願いいたします。

(発言する者なし)

○真如教育長 なければ、教育長諸務報告を終わります。

◎日程第3 第9号報告 事務の臨時代理の承認について

○真如教育長 日程第3、第9号報告 事務の臨時代理の承認について、本件を議題に供します。

報告の説明をお願いいたします。

学校教育部長。

○田村学校教育部長 ただいま議題となりました第9号報告 事務の臨時代理の承認についてにつきまして、提案理由並びに内容のご説明を申し上げます。

本件は、平成30年度東大和市一般会計補正予算（第3号）についてであります。

一般会計補正予算（第3号）は、第4回市議会定例会において第73号議案として提出され、12月4日に原案どおり可決されておりますが、第11回教育委員会定例会開催時点では、市長と最終調整であったため、議案として付すことができず、平成30年11月30日付で事務の臨時代理をさせていただきましたので、今回の教育委員会にご報告申し上げ、承認をお願いするものであります。

それでは、学校教育に関する教育費の概要につきましてご説明を申し上げます。資料の1ページ、2ページをお開きください。

歳入でございます。

13款国庫支出金、2項国庫補助金、7目教育費国庫補助金、1節教育総務費補助金は64万4,000円の増額であります。

2ページの説明欄をご覧ください。

教育支援体制整備事業費補助金として、特別支援教育に係る早期支援コーディネーターの配置費用の補助を受けるものであります。

続きまして、3ページ、4ページをお開きください。

14款都支出金、2項都補助金、8目教育費都補助金、3節中学校費補助金は360万円の増額であります。

4ページの説明欄をご覧ください。

公立中学校特別支援教室設置条件整備費補助金として、教材等の物品購入に要する経費として150万円、教室環境の整備に要する簡易工事相当の経費として210万円、合わせて360万円の補助を受けるものであります。

続きまして、5ページ、6ページをお開きください。

歳出でございます。

10款教育費、1項教育総務費、3目教育指導費、9節旅費は9万6,000円の増

額であります。巡回相談員の通勤費の不足に伴う増額によるものです。

13節委託料は95万9,000円の増額であります。国際理解教育推進事業費説明欄にもありますとおり、小中学校日本語指導委託料の不足に伴う増額であります。

次に、2項小学校費、1目学校管理費、11節需用費は298万1,000円の増額であります。小学校運営費説明欄にもありますとおり、燃料費において現予算では不足が生じることが想定されることに伴う増額であります。

続きまして、7ページ、8ページをお開きください。

3項中学校費、3目特別支援学級費は360万円の増額であります。通級指導学級事業費は、説明欄にもありますとおり、需用費、消耗品費において特別支援教室の導入にかかわる執務環境整備用物品の購入、工事請負費は特別支援教室環境整備工事に伴う費用及び備品購入費は通級指導学級用備品の購入による増額であります。

以上でございます。よろしくお願ひ申し上げます。

○真如教育長 説明が終わりました。

ご質疑があれば、ご発言をお願いいたします。

(発言する者なし)

○真如教育長 それでは、質疑を終了いたします。

お諮りいたします。

日程第3、第9号報告 事務の臨時代理の承認について、本件を承認することにご異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○真如教育長 ご異議なしと認め、第9号報告 事務の臨時代理の承認について、本件を承認と決めます。

◎日程第4 第29号議案 第二次東大和市学校教育振興基本計画
(案) について

○真如教育長 日程第4、第29号議案 第二次東大和市学校教育振興基本計画
(案) について、本件の説明をお願いいたします。

学校教育部長。

○田村学校教育部長 ただいま議題となりました第29号議案 第二次東大和市学校教育振興基本計画 (案) についてにつきまして、提案理由並びに内容のご説明を

申し上げます。

本計画（案）は、平成26年度から平成30年度までの5年間を計画期間とした現行の東大和市学校教育振興基本計画の2期目に当たるものでございます。

本計画（案）は、平成30年4月に設置した教育長及び教育委員、小・中学校校長会の代表者、学識経験者、公募市民並びに教育委員会事務局で構成された第二次東大和市学校教育振興基本計画策定検討会にて審議を重ね、作成した計画の素案についてパブリックコメントを実施し、それらのご意見も踏まえて取りまとめたものであります。現行の計画の実施結果を踏まえ、教育委員会が今後5年間で取り組むべき施策の目標を示すとともに、学校における経営方針等に活用できるよう施策の方向性や指標を明らかにする目的で作成いたしました。こちらについて、本会議にてご提案申し上げ、ご審議いただくものでございます。

それでは、第二次東大和市学校教育振興基本計画（案）の構成と概要につきましてご説明申し上げます。

資料をご覧ください。

計画（案）の体裁は、見開きの状態で表裏合わせてA4サイズ、8ページ分の紙面となっております。

初めに、第二次東大和市学校教育振興基本計画（案）の基本的な姿勢について4点申し上げます。

まず、1点目といたしまして、現行の東大和市学校教育振興基本計画に引き続き、国の計画や東京都の教育ビジョン、東大和市教育委員会の示す教育目標、基本方針等を踏まえたほか、新しい学習指導要領の趣旨を反映させたものとなっております。

2点目は、学力の向上を初めとする各目標において、現行の計画よりさらに高い指標を掲げている点であります。第二次東大和市学校教育振興基本計画策定検討会において、現行の計画の達成状況を踏まえ、未達成の目標等課題を抽出し、さまざまな視点から検討を加え、より高いレベルでの目標達成を期待し、東京都平均との差を縮めるものではなく、上回ることを目指すこととしております。

3点目は、施策の方向性を定め、現時点での達成と5年後の平成35年度（2023年度）の指標となる数値を示したことであります。東大和市の学校教育のさらなる充実、発展に向け、東大和市全体で同じ方向に向かって取り組めるよう本計画（案）をご承認いただきましたら、これを学校、家庭、地域、関係機関等へ広く

周知したいと思っております。

最後、4点目は、現行の計画と同様、コンパクトな体裁にした点であります。東大和市教育委員会が目指す教育の方向性がどなたにもわかりやすいように常に手元に置いて活用しやすい体裁にすることで、学校を初め多くの方々にご理解いただけるよう努めております。

次に、構成であります。

こちらの資料を大きく開いてご覧ください。

左端のページには、東大和市の教育に関する大綱を掲げ、その右隣のページには目指す人間像である教育目標とこれを実現するための教育委員会基本方針を示してあります。ここから右側が計画の内容となっております。計画の強調点として大きく3つに分類し、それぞれの強調点について順に施策の目標、施策の方向性、平成35年度（2023年度）までの指標を示しております。ご覧のように一連の関係性を体系的に整理し、視覚的に理解しやすくしております。現行の計画では、計画の強調点、施策の方向性、施策の具体、施策の事例と4つの項目を示しておりましたが、本計画（案）では、目標に沿った方針の立案がより容易になるよう現行の計画の施策の方向性に該当する部分を施策の目標と修正いたしました。同じく計画に沿った取組について、各学校の特色を生かしながら自主的に実施してもらえるように、現行の施策の具体と施策の事例を統合し、本計画（案）では施策の方向性とし、簡潔な表記にとどめております。

それでは、内容についてご説明申し上げます。

本計画（案）は、現行の計画から引き続き強調点を3つ掲げております。1つ目は、生きる力の育成。2つ目は、学校の活性化。3つ目は、家庭、地域との連携であります。

初めに、強調点1つ目の生きる力の育成については、4つの視点で項目を分類しています。現行の計画と同様、知・徳・体の観点から掲げる確かな学力、豊かな人間性、健康・体力の3つに加えて、4つ目としましてオリンピック・パラリンピック教育を追加いたしました。平成32年（2020年）に開催される東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の前後で、ボランティアマインドや障害者理解等の理解を深め、生きる力の育成に取り組んでいきます。

次に、強調点2つ目の学校の活性化につきましては、学校改善、人材育成、環境整備の3つの視点から取り組むことといたしました。このうち学校改善は、現

行の計画では学校経営としておりましたが、各校長が目指す学校経営の評価指標の具体化と小中一貫教育のさらなる推進を図るため、学校改善と項目を変更しております。

続きまして、強調点3つ目の家庭、地域との連携であります。現行の計画における家庭、地域の教育力の向上支援の項目に該当いたします。現行の計画期間中に市内の小学校にコミュニティ・スクールが設置されるなど、家庭や地域は学校と共同する存在へと位置づけられてきました。引き続き家庭と地域との連携を強化して、地域社会との結びつきを強める施策を展開するものいたします。

計画（案）の内容については、説明は以上であります。

なお、計画（案）の両端のページを閉じていただきますと、第二次東大和市学校教育振興基本計画策定の経緯が両面に示されております。これは本計画（案）を策定する経緯を簡単にまとめた資料となっております。この部分の内容や全体のデザイン等につきましては、今後変更することもございます。これらにつきましては、事務局にご一任いただきたいと思います。

最後に、本日皆さまの机上に配付させていただきました参考資料2点についてご説明を申し上げます。

1点目は、こちらの第二次東大和市学校教育振興基本計画策定の経緯（案）であります。こちらは、本計画（案）の内容をより深くご理解いただけるように別冊形式で作成したものでございます。内容や体裁は今まだ策定途中でございます。今後変更される可能性もありますので、あらかじめご了承くださいと存じます。

2点目は、第二次東大和市学校教育振興基本計画素案に対するパブリックコメントの結果であります。本計画（案）の策定に当たりまして、パブリックコメントとして市民の皆さまからいただいたご意見の内容とそれに対する市の考えについての案を作成しています。こちらにつきましては、内容が確定次第、1月中に市の公式ホームページにて公表する予定でございます。

説明は以上です。よろしく願いいたします。

○真如教育長 説明が終わりました。

ご質疑があれば、ご発言をお願いいたします。

岩田委員。

○岩田委員 内容についてはではないのですが、平成が終わるのに平成35年度

という表記はいかがなものでしょうか。

○真如教育長 学校教育部長。

○田村学校教育部長 今回の段階で次の元号がまだわからないという中で、今市の中で和暦と西暦を併記するというので、平成35年度というのはありませんけれども、今の時点でわかる、平成で一応示して括弧で西暦で示すというのが今市の中でルールとして決まっていますので、それで統一しております。

○岩田委員 はい、わかりました。ありがとうございます。

○真如教育長 ほかにございませんか。

内野委員。

○内野委員 この長い資料の裏のこのグラフは載せるものですか。東京都と東大和市の平均正答率の差というグラフが入っているのですが、これもそのパンフレットと一緒に載せる項目になるのですか。

○真如教育長 学校教育部長。

○田村学校教育部長 今回の段階では、このような形で掲載したいなと思っております。今こういうふうに折り込んでありますけれども、実際にはここは折り込まないで、ここを開いたときに、このまず策定の経緯を見ていただいて、現状と課題を見ていただいて、それで中を開いて5年後の指標を見ていただくという形にしておりますので、現状の東大和市の東京都との平均正答率との差というのを皆さんに知っていただくという意味で掲載したいと思っております。

○内野委員 わかりました。ありがとうございます。

○真如教育長 藤宮委員。

○藤宮委員 8枚というのは、8ページは1、2ですか。

○田村学校教育部長 A4の面で8ページ分。

○藤宮委員 これも入る。

○田村学校教育部長 表紙も含めてです。

○藤宮委員 わかりました。

○真如教育長 ページをつけたほうがいいですか。

○藤宮委員 見やすいのではないかなとは思いますが。

○真如教育長 また検討してください。

○藤宮委員 大きく書くことはないです。

○真如教育長 説明するときに何ページと言うので。

ほかにございませんか。

新藤委員。

○新藤委員 中身ではないですが、今日、追加で表紙をいただいて、第二次東大和市学校教育振興基本計画ということで、気になったところだけ申し上げます。一番下にあるこの5人の子どもですけれども、これはやはり小学生を想定しているのかなと思いました。そしてやはり小・中学生両方欲しいなということ、あとやはり今LGBTでいろいろと問題があるので、女の子がみんなスカートや男の子は短パンという何というのでしょうか、こういうパターンで載せてしまうと、何となくやはり引っかけるところが出てきますので、この辺のところの絵であらわすというのは本当に今難しくなっているなと思いますので、今後恐らくご配慮いただけたらと思いますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

○藤宮委員 女子もスラックスでいい学校が出てきましたよね。びっくりしました。

○新藤委員 それはそうなってくるのです。

○藤宮委員 私はこれでかわいくてすごく良いと思ひけれども、そう言へばそんな記事があつたなと思ひました。

○真如教育長 そんな話をしておりました。

○新藤委員 よろしくお願ひします。

○真如教育長 担当者2人いるので。また検討させていただきます。

ほかにございますか。

新藤委員。

○新藤委員 本当に外部の委員の方を3人集めていろいろと意見を聞きながら良くここまでまとめたなと思ひて、他市を見るとやはりどうしても文章が多くて、ページ数が多くなり、学校が受け取つてもなかなかポイントがどこにあるのか見づらくて、保護者の立場からすれば、ますますわからなくなるというところがあると思ひますけれども、東大和市は非常に見やすく出来ていますので、あとはそれぞれの学校のところで、この目標数値をどうクリアしていくかです。事務局よく頑張つていただいたと思ひます。お疲れさまでした。ありがとうございました。

○真如教育長 ありがとうございます。

それでは、よろしいですか。

(発言する者なし)

○真如教育長 それでは、質疑を終了いたします。

お諮りいたします。

日程第4、第29号議案 第二次東大和市学校教育振興基本計画（案）について、本件を承認することにご異議ございませんでしょうか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○真如教育長 本件を承認といたします。

◎日程第5 その他報告事項

○真如教育長 日程第5、その他報告事項を行います。

報告事項（1）東京都「児童・生徒の学力向上を図るための調査」結果について、本件の報告をお願いいたします。

統括指導主事。

○吉岡統括指導主事 それでは、その他報告事項、東京都「児童・生徒の学力向上を図るための調査」結果について、報告させていただきます。

まず、資料のほうをご覧ください。3枚ございます。

まず、1枚目でございます。東京都の平均正答率の差について、この資料をもとに報告をさせていただきます。

まず、小学校でございます。平成30年度の都学力向上を図るための調査という3段目のところをご覧ください。

国語、教科平均でございますが、これは平成29年度、第1段目のところと比較しますと0.1ポイント差が、東京都の平均正答率との差が縮まっているという状況です。また読み解く力に関しては、若干差が開いているということでございます。全体平均としましては、平成29年度と同じ差となっております。続きまして算数でございますが、教科平均、読み解く力ともに差が若干開いている状況でございます。全体平均としましては0.3ポイント差が開いているという状況でございます。

続きまして、中学校でございます。

平成30年度の国語でございますが、平成29年度と比較しまして、教科の平均では0.4、読み解く力では5.3、そして全体では1.2差が縮まっているという状況でございます。また数学につきましては、教科平均が0.3縮まり、読み解く力については同じ、全体平均については0.9差が縮まるという結果でございました。

2枚目の資料をご覧ください。

この平成30年度東京都の調査結果につきましては、学校名は伏せてございますが、東京都と各校の平均正答率を順番に並べた形で掲載させていただきました。これをご覧くださいますと、都の平均正答率を上回る学校につきましては、国語の読み解く力の観点において1校、社会科、教科の内容の観点について4校、読み解く力の観点で5校、そして算数になりますが、教科の内容で2校、続いて理科になりますが、教科の内容について1校、読み解く力の観点において3校上回っている学校があるという状況でございます。また中学校につきましては、国語、教科の内容が1校、社会においては教科の内容が1校、読み解く力が1校、続いて数学においては教科の内容が1校、また理科においては教科の内容が3校という形で上回る学校が複数ございました。

そして、続きまして最後のページになります。3枚目をご覧ください。

この資料につきましては、東京都の平均正答率との差について示しているものがございますが、今年度、平成30年度に調査を実施した中学校2年生が小学校5年生時に実施した平成27年度の際の平均正答率の差を比較したグラフでございます。全ての教科において、都の平均正答率との差が縮まっている状況がございます。この傾向は昨年度も同様であり、下のグラフにあるとおりでございます、ここ数年間こういった傾向が見られているという状況があります。

私のほうからは以上で報告を終わります。

○真如教育長 何かご質疑ございますでしょうか。

藤宮委員。

○藤宮委員 これ誤植ですよ。平均生徒率。

○真如教育長 生徒という字。

○藤宮委員 誤植ですよ。

○真如教育長 平均生徒率との差と書いてある。正答ではなく生徒と書いてあるということですね。グラフの中のタイトルのところ。東京都の平均生徒率との差を正答率に訂正しておいてください。

ほかにございますか。

新藤委員。

○新藤委員 できればということでの要望ですけれども、やはり第二次学校教育振興基本計画で学力向上を掲げたわけなので、対策の一つの取組として思うのは、

今いただいたデータで各学校のデータがありますので、私見てみたいなと思っ
ているのが、トップクラスの、中学校ではD中学校。これは都の調査と全校調査両
方ともできると思いますけれども、例えば、100人いたとすれば上位7%、次の
24%、38%、24%、7%と機械的に切って、それぞれの平均点がどうなってい
るかを見ることによって、その学校の上位にいる生徒が頑張っ平均点を引き上げ
ているから良くなっているのか、それとも下位が思ったよりも健闘して平均
点がある程度とれているので全体の平均点が上がったことによって上回っている
のか、そういうところがやはり上位層をどれだけ伸ばせるか、それから下位層を
どれだけ向上させられるか、どうしても学校は私自身の経験からいくと、こうい
う平均点を上げるためには下位を何とか少しでも上げるという発想になってしま
いますけれども、そこばかりですとやはりなかなか本当の意味で伸びていかない。
平均点を上回るぐらいのところまで持っていくためには、どうしても上位層の頑
張りを伸ばさないといけない部分があると思うので、上位の学校とそれから中学
校ではD校とC校を比較して、違いがどう出ているのか、出ていないのか、そこ
のところももし何か研究していただいて、何か具体的にその学校の強さとか、あ
るいは学校のその部分の弱さみたいなのところが見えたときに、そこに対してどう
具体的に手だてを講じていくかを向こう5年間取り組んでいただければ、基本計
画に基づいて一つの指標、努力をしたというところが胸を張って言えるのではな
いかと思うので、そのところを研究材料としていただければと思っています。

○真如教育長 さまざまな学習方法で行ってきているが、なかなか急には効果が上
がらないけれども、ご指摘のあった取り組み方も考えていって、何としても学校
が変わったなという勢いで、ぐっと全体を引き上げていきたいと思います。先生
方も非常に熱心に研究・研修を積んで行っていますから、何とか成果を出したい
と思います。

○新藤委員 私は、今から40年近く前に第二中学校に勤めていましたが、そのころ
はやはり大変だったことは事実です。つまり言うと、東大和市立第二中学校のト
ップでオール5をとっている子が、いわゆる昔の業者テストの偏差値で言います
と65を超えない。つまり7%の上位に入っていない。だからオール5ですから、
高校は、ほとんどどこでも入れるわけです。都立高校はオール5なので、通うけ
れども、授業についていけない。それで結局途中で進路変更せざるを得なかった
というのを何人も見てきています。つまり東大和市の、第二中学校ですけれども、

結局東大和市あたりでは真面目に勉強してトップで5をとっても、当時はいわゆる総合評価ですから、7%、24%で切っていた時代ですから、今みたいに絶対評価ではなかった時代ですので、思い起こすとこの平均点から見ると、東大和市は当時に比べて物すごく伸びてきたなと思うので、それはもう真如教育長のおっしゃるとおりで、各学校それぞれの努力は間違いなく成果として上がってきていると思いますので、より成果の上がる方法を皆さんと考えていくということで、また教育委員会としてもそこで何かお手伝いできることがあればしていく必要があるのかなと感じております。

以上です。

○真如教育長 ありがとうございます。

ほかにございますか。

(発言する者なし)

○真如教育長 それでは、質疑を終了したいと思います。

次に、報告事項(2)平成30年度東京都多摩地域公立図書館大会について、本件の報告をお願いいたします。

中央図書館長。

○当摩中央図書館長 それでは、その他報告事項(2)平成30年度東京都多摩地域公立図書館大会について、報告をさせていただきます。

資料のほうは、ポスター、これはチラシと同じものになります。その他、大会の開催要項をお配りさせていただいております。

では、大会の開催要項のほうをご覧くださいと思います。

今年度は、「地域に働きかける図書館」、副題といたしまして「～今考える図書館の役割 平成から未来へ～」というタイトルで開催をいたします。

主催は、東京都市町村立図書館長協議会が主催しております。

後援は、東京都市教育長会からもご後援をいただいております。

それから、会期につきましては、平成31年2月7日の木曜日と8日の金曜日の2日間で、今年度は小規模大会で実施いたします。

会場は、都立多摩図書館2階のセミナールーム、200人ぐらい収容できる大きな部屋でございます。

それから、6番の日程ですが、初日の2月7日につきましては、開会式の後、第1分科会ということで、こちらが基調講演になりますが、「地域に向き合う図

書館－その役割と課題－」と題しまして、東京学芸大学教育学部教授の山口源治郎先生にお願いしております。内容につきましては、書かれている内容になります。

それから、午後ですけれども、第2分科会ということで、三多摩地域資料研究会の部会が、「市民と構築するデジタルアーカイブ」というタイトルで常磐大学コミュニティ振興学部教授の坂井知志先生にご講演をいただく予定になっております。内容は書かれている内容になります。

それから、次のページに移りまして、2日目の2月8日、第3分科会になります。こちらは障がい者サービス研究会の「改正著作権法と図書館の障害者サービス」というタイトルで、埼玉県立久喜図書館障害者サービス担当司書主幹の佐藤聖一氏にお願いしております。佐藤氏は、重度障害の全盲の方なのですが、本当に見えるかのようなご講演をしていただける、この会の第一人者の方のご講演になります。内容はこちらに書かれている内容になります。

対象は図書館職員及び一般の方ということで、どなたでも参加していただける内容になっております。

参加費は無料で、申込みにつきましては、一般の方は当日直接会場へですが、職員と教育委員会の皆さん、もしご希望がございましたら、締め切りが1月21日になっておりますけれども、私、當摩のほうまでご連絡いただければ申込みをしておきますので、よろしく願いいたします。

報告は以上です。

○真如教育長 報告が終わりました。

ご質疑があれば、ご発言をお願いいたします。

よろしいですか。

(発言する者なし)

○真如教育長 それでは、報告事項(3)教員の表彰について、本件の報告をお願いいたします。

教育指導課長。

○佐藤学校教育部参事兼教育指導課長 それでは、私のほうからは2つの表彰が本市の教員に行われるということでの報告をさせていただきたいと思います。

本日、机上配付をさせていただきました資料をご覧ください。

1人目は、文部科学大臣優秀教職員表彰ということで、いわゆる文部科学大臣

表彰になります。第三小学校主幹教諭の大島正聖主幹教諭であります。主な功績といたしましては、校内を中心に外国語、体育そして、人材育成で、大変顕著な功績を残したということで国のほうから認められた表彰になります。

2人目につきましては、東京都教育委員会表彰ということで、第八小学校、野村宏行指導教諭になります。野村指導教諭につきましては、主に道德の研究を中心に国、都、もちろん本市においてもさまざまな資料作成等を含めた活躍をされ、今回表彰者ということで認められた次第でございます。

大変2人とも顕著に活躍をしてくださっている教員で、やはり市内でも大変優秀で認められているかなと感じているところです。大変うれしい受賞でございましたので、今回報告をさせていただきました。

以上でございます。

○真如教育長 報告が終わりました。

ご質疑があれば、ご発言をお願いいたします。

(発言する者なし)

○真如教育長 それでは、ないようですので質疑を終了いたします。

これで、その他報告事項を終了いたします。

よろしいでしょうか。

◎閉会の辞

○真如教育長 それでは、以上をもちまして、本日予定しておりました議事日程は全て終了いたしました。

これをもって平成30年第12回東大和市教育委員会定例会を閉会といたします。

午後 2時45分閉会

以上の会議の顛末を記載し、相違ないことを証するため、ここに署名する。

東大和市教育委員会教育長 真如 昌美

会議録署名委員 新藤 久典